

令和6年第1回定例会

富良野市議会会議録

令和6年3月1日（金曜日）午前10時00分開議

◎議事日程（第3号）

- 日程第 1 議案第 8号 令和5年度富良野市一般会計補正予算(第15号)  
日程第 2 議案第 9号 令和5年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)  
日程第 3 議案第10号 令和5年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第3号)  
日程第 4 議案第11号 令和5年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)  
日程第 5 議案第12号 令和5年度富良野市水道事業会計補正予算(第2号)  
日程第 6 議案第13号 令和5年度富良野市下水道事業会計補正予算(第2号)

◎出席議員（16名）

議長	16番	渋谷正文君	副議長	10番	今利一君
	1番	宮田均君		2番	松下寿美枝君
	3番	橋詰亜咲美君		4番	家入茂君
	5番	坂口邦夫君		6番	関野常勝君
	7番	佐藤秀靖君		8番	二宮利和君
	9番	大西三奈子君		11番	大栗民江君
	12番	天日公子君		13番	石上孝雄君
	14番	後藤英知夫君		15番	本間敏行君

◎欠席議員（0名）

◎説明員

市	長	北猛俊君	副	市	長	稲葉武則君
総務部	長	関澤博行君		スマートシティ戦略室	長	西野成紀君
市民生活部	長	山下俊明君		保健福祉部	長	柿本敦史君
経済部	長	川上勝義君		建設水道部	長	北川善人君
兼ぶどう果樹研究所	長			総務課	長	入交俊之君
看護専門学校	長	石川賀子君		企画振興課	長	小笠原竹伸君
財政課	長	藤野秀光君		教育委員会	教育部	長 佐藤保君
教育委員会	教育	長 近内栄一君				

農業委員会会長 及川 栄 樹 君

農業委員会事務局長 長 尾 敏 寿 君

---

◎事務局出席職員

事務局 長 井 口 聡 君

書

記 大 津 諭 君

書 記 向 山 孝 行 君

書

記 鷺 見 悠 太 君

午前10時00分 開議  
(出席議員数16名)

## 開 議 宣 告

○議長(渋谷正文君) これより、本日の会議を開きます。

## 会議録署名議員の指名

○議長(渋谷正文君) 本日の会議録署名議員には、  
松 下 寿美枝 君  
本 間 敏 行 君  
を御指名申し上げます。

## 諸 般 の 報 告

○議長(渋谷正文君) この際、諸般の報告をいたします。

2月29日、本会議終了後、予算特別委員会が開かれ、委員長に後藤英知夫君、副委員長に大西三奈子君が互選された旨、報告がございました。

以上で、諸般の報告を終わります。

### 日程第1

#### 議案第8号 令和5年度富良野市一般会計補正 予算(第15号)

○議長(渋谷正文君) 日程第1、議案第8号、令和5年度富良野市一般会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。

質疑は、予算第1条の歳出より行います。

事項別明細書26ページ、27ページをお開きください。

1款議会費、2款総務費、26ページより31ページまでを行います。

質疑ございませんか。

13番石上孝雄君。

○13番(石上孝雄君) 26ページ、27ページ、2款1項1目の162番、地籍調査事業費の地籍調査業務委託料について伺います。

当初予算は、3,174万5,000円なのですが、毎年、非常に金額の大きい減額になっています。

令和5年度の進捗状況をお知らせください。

○議長(渋谷正文君) 御答弁願います。

建設水道部長北川善人君。

○建設水道部長(北川善人君) 石上議員の御質問にお答えいたします。

26ページ、27ページ、2款1項1目の162番、地籍調査

事業費についてでございます。

毎年大きな減額ということで御指摘がございますけれども、当初計画では、1地区につきまして3年間で実施していくという計画で、国のほうにも予算を要求してきておりますが、どうしても国の予算が削られてきている状況が続いているということで、一つの地区に対して、当初計画よりも長い年数をかけてやっていかなければならないという状況になっております。

そういった意味で、今年も減額ということになってきておりますけれども、進捗状況ということにつきましては、令和5年度予定している部分をまだ実施できていない部分もございますので、引き続きやっていくという形になっているところでございます。

以上でございます。

○議長(渋谷正文君) よろしいですか。

(「了解」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) そのほか質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) ないようですので、次に移ります。

3款民生費、30ページより37ページまでを行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) ないようですので、次に移ります。

4款衛生費、6款農林業費、36ページより41ページまでを行います。

質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) ないようですので、次に移ります。

7款商工費、8款土木費、40ページより45ページまでを行います。

質疑ございませんか。

6番関野常勝君。

○6番(関野常勝君) 44ページ、45ページ、8款5項3目の100番、公営住宅建設事業費について伺います。

アスベスト調査分析委託料、また公営住宅解体工事費が減額になっておりますけれども、この事業としては100%達成できたのか、その点について伺います。

○議長(渋谷正文君) 御答弁願います。

建設水道部長北川善人君。

○建設水道部長(北川善人君) 関野議員の御質問にお答えします。

44ページ、45ページ、8款5項3目の100番、公営住宅建設事業費についてでございます。

中身は、アスベスト調査分析委託料6万5,000円の減額

と公営住宅解体工事費301万7,000円の減額をさせていただいております。

当初予定しておりましたとおり、アスベストにつきましては、次年度以降に実施する解体工事に向けたアスベストの調査ということで、計画どおり四つの地区の部分について実施しております。6万5,000円の減額につきましては、契約の執行残になっております。

それから、公営住宅解体工事費につきましては、当初では、北麻町5棟を予定しておりましたけれども、実際に解体の契約を行った際に、やはり経費率等が上昇しておりますして4棟を実施したところでございます。1棟は残ってございますので、今年度、無理をしてやるのではなく、次年度以降で調整していきたいというふうに考えまして、減額させていただいたところでございます。

以上です。

○議長（渋谷正文君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文君） ないようですので、次に移ります。

9款教育費、11款給与費、44ページより49ページまでを行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文君） ないようですので、次に移ります。

次に、歳入全体について行います。

14ページから25ページまでを行います。

質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文君） ないようですので、次に移ります。

次に、第2条繰越明許費の補正、第3条債務負担行為の補正、第4条地方債の補正について行います。

6ページから9ページまでをお開きください。

質疑ございませんか。

2番松下寿美枝君。

○2番（松下寿美枝君） 8ページ、9ページ、第3表債務負担行為補正の令和5年度小中学校空調設備及び次世代エネルギー設備借上料、令和6年度から令和24年度までの9億5,206万4,000円について質問いたします。

こちらは、事前に説明をいただいたところですが、質問は3点あります。

1点目、9億5,000万円の内訳についてお聞かせください。

2点目としましては、リース期間は18年と事前の説明で伺っております。こちらの根拠もお知らせください。

それから、次世代エネルギー設備借上料となっているのですが、次世代エネルギーとは何を想定しているのか、お知らせください。

○議長（渋谷正文君） 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

○教育委員会教育部長（佐藤保君） 松下議員の御質問にお答えいたします。

8ページ、9ページ、第3表債務負担行為補正の令和5年度小中学校空調設備及び次世代エネルギー設備借上料、3点ほど御質問いただきました。

まず、9億5,206万4,000円の積算の内訳というところかと思えます。

こちらにつきましては、18年間の事業ということで考えておまして、空調設備のリースということで、いま、小学校2校と中学校2校に整備しようとしているところでありまして、その冷暖房設備の設置に係る費用、また、18年間冷暖房設備を設置したことにより電力が上がっていくことも含めた18年間にかかる電気の料金とエアコンの設備を整備する費用を上限額としてきたところでありまして。

また、リース期間を18年間とした根拠ということでございますけれども、こちらにつきましては、地方公営企業法施行規則の有形固定資産の耐用年数というものを参考にいたしまして、18年間というリース期間を設定してきたものでございます。

次に、3点目、次世代エネルギーとは何を指しているかというような御質問でございます。

本市の脱炭素ロードマップということで令和5年4月から策定されたものなのですけれども、こちらのほうで脱炭素化に向けた有望なエネルギーに挙げられている水素ですとか、太陽光、水力、バイオマス、こういったものを活用した技術というふうに考えております。

以上でございます。

○議長（渋谷正文君） 続いて、質疑ございませんか。

2番松下寿美枝君。

○2番（松下寿美枝君） 確認なのですが、こちらでは、まだ次世代エネルギーというのは絞ったものでは考えていらっしゃるという理解でよろしいですか。

○議長（渋谷正文君） 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

○教育委員会教育部長（佐藤保君） 松下議員の再質問にお答えさせていただきます。

いま、次世代エネルギーというもので絞ったものはないかというような御質問ですけれども、この後、公募型のプロポーザル方式で、企業、事業所から提案を受けながらやっていくというところで、お話しさせていただいたこういった次世代のエネルギーを活用して、そこで発電させて各校に電力を供給するものということでありま

して、いまは公募に際しては広く取っていきたいと考えております。

以上でございます。

**○議長（渋谷正文君）** よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

**○議長（渋谷正文君）** そのほか質疑ございませんか。

9番大西三奈子君。

**○9番（大西三奈子君）** ただいまの松下議員と同じところで質問をさせていただきたいと思っております。

8ページ、9ページ、第3表債務負担行為補正の令和5年度小中学校空調設備及び次世代エネルギー設備借上料のところ質問させていただきます。

今回、この提案に至ったのは、これまで他市の事例などを参考に調査研究を進められてきたのではないかとと思いますが、どのように制度設計されてきたのかというところで、導入の経緯、それから、先ほど、プロポーザルで提案を受けながらということで、早期に債務負担行為に上げられておりますけれども、今後のスケジュールについてお知らせください。

それから、あと2点ですけれども、次世代エネルギーについて、ただいま御説明いただきました。新技術を入れていくということで、リスクもあるかと思うのですけれども、それ以上に費用対効果というものも見込まれているのではないかと思いますので、費用対効果についてお知らせください。

最後に、松下議員と同じところですけれども、リースの期間は18年ということで御説明いただきましたけれども、ほかの自治体では、エアコンだけを整備するというような例も出ているかと思っております。

今回、リースで導入することによるメリットをどのように見込まれているのか、お知らせください。

**○議長（渋谷正文君）** 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

**○教育委員会教育部長（佐藤保君）** 大西議員の御質問にお答えさせていただきます。

令和5年度小中学校空調設備及び次世代エネルギー整備借上料について、4点ほどかと思っております。

1点目の導入の経過につきましては、教育委員会では、学校の施設整備については学校施設長寿命化計画を策定しておりまして、直近でいきましたら、令和3年度、4年度に富良野小学校の改修工事を行っております。富良野小学校の整備の中にエアコンの整備も入ってきたところでございます。

その後の施設整備は、一旦、富良野小学校が終わって、その後の学校の施設整備として、令和6年度の設計費ということで提案させていただいておりますけれども、西中学校ということで今後整備していくところでございまして、そういった今後の施設整備に際して、エアコンを導

入していくということで、こちらのほうが環境に負荷がかかるような設備ということもあって、施設整備に際しては、いまの時代、脱炭素に適合する整備をする考えも必要だということで、この間、再生可能エネルギーですとか、今回提案しています次世代エネルギーの活用など、いろいろな御提案があったところでございます。

その中で、意見交換していく中で、また、事例調査等、いろいろな職員と研究していく中で、やはり、環境に優しいエネルギーとして、次世代エネルギーといったものも実用化されてきていることから、先事例を参考にしながら導入できると判断いたしまして、今回の提案に至ったところでございます。

2点目が今後のスケジュールということでもありますけれども、今日、補正予算の提案ということでさせていただいております、こちらの承認を得たというふうな前提でいきますと、この後、プロポーザルの公告をしながらやっていきたいと思っております。

プロポーザルの期間は、審査期間も含めて大体1か月半ぐらいを考えておりまして、その後、審査会におきまして、応募されてきた企業からのプレゼンをいただいて、最も効率的、効果的なところを選定していくという形になるかと思っております。

契約とかということに関しましては、4月の中旬から下旬になっていくかと思っております。

その後、学校への説明とかも事業所が決定したらしていこうと思っておりますし、また、工事の期間ということになりますと、学校の中での工事ということを考えますと、私どものほうでは、いま、夏休みの期間に冷暖房設備を整備していくのがいいと考えておりまして、そのようなスケジュールでいきたいと思っております。

ただ、その後、自家発電型の次世代エネルギーの発電なのですけれども、そういった設備の整備につきましては、大体10月いっぱいをめどに整備しながら、リースの開始というのは令和6年11月からと考えております。

3点目、次世代エネルギーの費用対効果というところでございます。

こちらにつきましては、現状の年間の光熱水費というものを出しております、電気料というのは、エアコンが整備されて、今回、冷暖房設備ということで冷房も暖房もということで、そちらの使用に係る電気料が上がってくるだろうということで、大体1.5から1.7倍、大体1.7倍ぐらいですか、そういったところも考えております。

また、いま、2030年脱炭素ということで60%削減を目指して掲げておりますので、冬の重油、灯油の使用も抑えられるだろうということで計算してきております。

それと今回のリース料ということで、比較していきますと、リース料のほうが少し上回るころはあるのですが、こういった整備をしていく中で、今後、脱炭

素社会に向けた整備と考えていければ、私は妥当ではないかというふうに考えております。

最後、4点目のリース18年間のメリットというところの御質問でございました。

リース期間18年間のメリットということでいきますと、今回、大きな全体の予算が9億5,200万円ということで上がっております。4校を一気に冷暖房設備を整備していくというところでは、費用もかかってくるということで、単年度ということではなかなか難しいというふうに考えてございました。

そういったところから、4校に一気に導入するに当たっては、リース事業を入れながら、毎年の負担はありますけれども、導入に関しては固定した金額で推移していくというふうに考えておりますし、自家発電ということでは、その分、電気料が削減されていくというところもあります。

それで、18年間のメリットでいきますと、毎年の費用が固定されて安くやっていけるというところがあるかと考えております。その間、冷暖房設備を動かす電気料がかかってくるということでもあります。

以上でございます。

**○議長（渋谷正文君）** 続いて、質疑ございませんか。

9番大西三奈子君。

**○9番（大西三奈子君）** ただいまの説明で、導入の経緯については、今年の夏の猛暑もあったかと思うのですが、それ以前から調査研究もされてきたというふうに理解させていただきました。先行事例も参考にされたということで、そこは承知しました。

ほかの2点のことで、もう一度、再質問させていただきたいと思っております。

新技術を入れていくということでの費用対効果で、年間の光熱水費だとか、そういったものが下がるというところは理解したのですが、年間のCO<sub>2</sub>の削減ですとか、そういった効果というのはどのように見込まれているのか、お伺いしたいと思います。

それから、もう一点、リースの部分でお伺いしたいと思います。毎年の費用が固定化するということで、そこは理解したのですが、リースそのものというのは、国の冷暖房の設備に対する補助事業の対象外になっているかと思っております。

今回、それでもリースで入れるというところに対しては、今後、財源の見込みだとか補助事業だとか、そういったことも見込まれているのか、それとも、今回はリースで進めていくという考えでいま捉えていったらいいのか、確認させていただけたらと思います。

**○議長（渋谷正文君）** 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

**○教育委員会教育部長（佐藤保君）** 大西議員の再質問

にお答えさせていただきます。

2点ほどあったかと思っております。

まず、1点目、CO<sub>2</sub>の削減効果というところであります。

いま、市街地の4校で使用している全電力を次世代エネルギーで賄うことによって、排出される二酸化炭素は年間257トンの削減効果が見込まれると考えております。

また、冷暖房設備ということで、冬場の使用も考えておりますので、そこで重油、灯油を使用しているところも使用料が下がってくると考えておりますので、ちょっと数字には出していないですけれども、下がってくるというふうに考えております。

次に、2点目、リースということで国の補助対象外であるけれども、財源の見込みはどう考えているかというところであります。

大西議員のおっしゃるとおり、リースに関して国の支援はないというように私も捉えているところでございます。

ただ、財源の見込みというところでは、いまままでかかってきた光熱水費、主に電気料がそのまま削減されていく、それとリース料がかかってくる、そういったところで比較していきますと、リース料のほうが少し高くなるかなというふうに試算しているところでございますけれども、財源というところでは、削減されたものでリース料というふうに考えてございます。

以上です。

**○議長（渋谷正文君）** 続いて、質疑ございませんか。

9番大西三奈子君。

**○9番（大西三奈子君）** いまの説明で、最後の点、CO<sub>2</sub>の削減については承知しました。

リースのところ、最後に確認したいのですが、空調設備だとか次世代エネルギーの借り上げのほか、受電設備の変更費ですとか、維持管理、設計、施工、定期的な保守点検を含むということで、フルパッケージでサポートもしていただけるということで今回リースを組まれているというふうに私は受け止めておりますけれども、例えば、途中で設備が故障したとか、そういったことの補償も含めて、それから、18年で組むと、エアコンもそれだけの長い期間もつのかという部分も出てきようかと思っております。そういったときの交換を含めて、フルパッケージで今回のリースが組まれているという理解でよろしかったのか、お伺いしたいと思います。

**○議長（渋谷正文君）** 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

**○教育委員会教育部長（佐藤保君）** 大西議員の再々質問にお答えさせていただきます。

リース期間の18年間で設備が故障したときにはどうするのか、また、エアコンの耐用年数は大体13年間と

いうふうに記載されているのを私も見えています。この交換についてはどういうふうに組まれているのかという御質問かと思えます。

まず、設備が故障したときには、今回、フルパッケージのリース事業ということで、故障したときには、設置事業所、リースすることに決まった事業所に直していただくというふうに設定するものでございます。

また、エアコンについても、18年間のリースということですので、途中で交換時期が来たら、交換も含めて18年間のこの費用というふうに考えております。

以上でございます。

**○議長（渋谷正文君）** そのほか質疑ございませんか。  
7番佐藤秀靖君。

**○7番（佐藤秀靖君）** いまと同じ8ページ、9ページ、第3表債務負担行為補正の令和5年度小中学校空調設備及び次世代エネルギー設備借上料について伺います。

これは、リース期間18年で総額9億5,200万円ということなので、非常に大きな事業ですから、慎重にならざるを得ないので細かいところまで伺いたしたいと思います。積算根拠について、先ほど松下議員も質問しておりました。

この中で、エアコンの設備料だとか電気料だとか、大西議員のほうからメンテナンスフルパッケージ料金ということでありましたけれども、実際問題、4校でエアコンを入れる台数は、当然、普通教室、特別教室、職員室も含めてということだと思いますけれども、4校全体で何台導入するのか、伺いたしたいと思います。

それから、メンテナンスの部分でいくと、これは非常に大きな事業ですから、ある程度の実績、ノウハウのある企業という大きな企業になるのかとも考えられるのですけれども、地元の企業がそこにどういう形で使われるのかということも非常に気になるところであります。

そこら辺の考え方、地元の企業をどうやって使っていくのかということの考えがあれば、それも併せて伺います。

**○議長（渋谷正文君）** ここで、暫時休憩します。

午前10時29分 休憩

午前10時30分 開議

**○議長（渋谷正文君）** 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

佐藤議員、質問の内容を再精査して質問いただきたく、お願いいたします。

7番佐藤秀靖君。

**○7番（佐藤秀靖君）** 先ほど、2点伺いました。

前段は、4校でエアコンを何台入れるのかということ

をお知らせいただきたいと思えます。

それから、後段のフルメンテナンスについて、地元企業がどう関わっていくのかということなのですから、その部分は取下げさせていただきます。

フルメンテナンスというところは結構ですので、何台入れるのか、どこに入れるのかということをお答えいただければと思います。

**○議長（渋谷正文君）** 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

**○教育委員会教育部長（佐藤保君）** 佐藤議員の御質問にお答えさせていただきます。

市街地の4校でエアコンをどこに入れるのか、また、台数はどれぐらいを考えているのかという御質問かと思えます。

冷暖房設備につきましては、まず、普通教室の全教室、特別教室も全部というふうに考えております。また、職員室、給食等の受け渡しをしますパントリーにもやはり必要かと思っております。

そういったところを含めると、プロポーザルの中では、教室等の面積をお示しながら、台数はどう入れるかというのはそれぞれ企業から企画提案されてくると思っております。ただ、私どもで4校に何台入れていくのがいいのかということは積算してきております。いま、私どもで教室等を冷やしたり暖めたりするということで考えていきますと、203台というふうに考えております。

ただ、この203台というの、あくまでも試算する上でのごとくですので、今後、提案してくる企業のほうでは、面積に合わせながらこういった冷暖房設備を選択していくかというのはこの後と思っております。

以上です。

**○議長（渋谷正文君）** 続いて、質疑ございませんか。  
7番佐藤秀靖君。

**○7番（佐藤秀靖君）** いま、設置場所について御説明いただきましたけれども、体育館は想定されていますでしょうか。

というのは、やはり、暑さで体育館で活動することが非常に厳しくなってくるのではないかとこの部分と、冬場も相当寒いので、例えば、有事の際に災害等で避難する場合にも有効に活用できるのではないかとこのように思ったのですが、体育館への設置についてはいかがでしょうか。

**○議長（渋谷正文君）** 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

**○教育委員会教育部長（佐藤保君）** 佐藤議員の再質問にお答えさせていただきます。

今回、冷暖房設備を導入するに当たって、体育館への導入は考えているかというような御質問かと思えます。導入過程におきましては、やはり、学校全体という

ここで体育館への導入というのも候補としてはございました。ただ、検討の過程で、冷暖房設備はかなり強い風も出るだろうというところでありまして、球技等で日常使っていくところでいけば競技に影響することがあるだろうというふうな議論過程での意見が多かったというところが一つあります。

また、災害時、有事の際の避難場所として学校体育館の活用がある中で、冷暖房設備を入れることも考えられないのかというようなどころではありました。その辺も導入に際しての議論の中であったところなのですけれども、体育館に大勢を収容というか、避難してくる日数ですとかを考えると、2日、3日というところであろうかと思えますし、全学校の全教室、特別教室も含めて考えますと、有事の際に必要であれば、学校の部屋を使うことも可能ではあるということもありまして、日常で使っていくほうを今回は考えておりまして、また、体育館については校舎とは別ボイラーとなっているところがありますので、冬場はそのボイラーで温めていくほうがよいだろうというふうに判断させていただきまして、今回、体育館へは導入しないというふうに考えたところでありまして。

以上でございます。

○議長（渋谷正文君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文君） そのほか質疑ございませんか。

1 番宮田均君。

○1 番（宮田均君） いまの関連で質問したいと思えます。

いま、冷暖房、エアコンを入れるということでお聞きしておりましたが、冷暖房にした理由、要するに、二酸化炭素の削減とかというのは分かりますけれども、最終的に、先ほど言っていたリースに補助金の適用がないということも含めて、冷房だけと比較されていたのでしょうか。

それというのも、佐藤議員が質問されたように、体育館には使わないで従来の設備をそのまま使っていくという回答だったと思うのです。そうなると、従来のものと並行してずっと使っていく、そこら辺の理由が漠然としていま分からなかったものですから、お答えいただきたいと思えます。

それから、もう一つは、18年の間で新しい技術、画期的な新しい技術が出てきた場合、どのような対応になるのでしょうか。

○議長（渋谷正文君） ここで、暫時休憩します。

---

午前10時37分 休憩

午前10時38分 開議

---

○議長（渋谷正文君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

宮田議員、質問の内容を再度精査して、もう一度、質問のほうよろしく願いいたします。

1 番宮田均君。

○1 番（宮田均君） 1 点目の質問は、冷暖房とした理由についてお伺いします。

それから、2 点目の質問内容は、大西議員の質問の内容の中で、提案があったということで回答されたと思うのですが、提案があったというのは、どこからの提案というか、提案があった……。

○議長（渋谷正文君） ここで、暫時休憩します。

---

午前10時40分 休憩

午前10時41分 開議

---

○議長（渋谷正文君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

宮田議員、質問の趣旨を整理して、再度、質問を願います。

1 番宮田均君。

○1 番（宮田均君） もう一度、なぜ冷暖房としたのか、回答をお願いしたいと思います。

○議長（渋谷正文君） 御答弁願います。

教育委員会教育部長佐藤保君。

○教育委員会教育部長（佐藤保君） 宮田議員の御質問にお答えさせていただきます。

なぜ、今回、冷暖房設備にしたのか、その理由というところがございます。

冷暖房、特に暖房も入れたというところの理由といたしましては、冬場については、パネルヒーターとかを使って重油、灯油で賄っているところがあるわけなのですが、この暖房を、教室、特別教室等で自賄いの電力を使っていくというところであれば、冬場の重油、灯油の化石燃料の削減にもつながっていくというところで、いま、ロードマップで示しています2030年脱炭素に向けて、60%削減していくというところで、そちらのほうに近づけていけるような設備ということを考えて冷暖房設備としたところでありまして。

以上でございます。

○議長（渋谷正文君） よろしいですか。

（「了解」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文君） そのほか質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渋谷正文君） なければ、以上で本件の質疑を終わります。



討論を省略いたします。  
お諮りいたします。  
本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) 御異議なしと認めます。  
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第2

議案第9号 令和5年度富良野市国民健康保険  
特別会計補正予算(第3号)

○議長(渋谷正文君) 日程第2、議案第9号、令和5  
年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算を議題と  
いたします。

これより、本件の質疑を行います。  
質疑は、本件全体について行います。  
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) なければ、以上で本件の質疑を  
終わります。

討論を省略いたします。  
お諮りいたします。  
本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) 御異議なしと認めます。  
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第3

議案第10号 令和5年度富良野市介護保険特別  
会計補正予算(第3号)

○議長(渋谷正文君) 日程第3、議案第10号、令和5  
年度富良野市介護保険特別会計補正予算を議題といたし  
ます。

これより、本件の質疑を行います。  
質疑は、本件全体について行います。  
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) なければ、以上で本件の質疑を  
終わります。

討論を省略いたします。  
お諮りいたします。  
本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) 御異議なしと認めます。  
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第4

議案第11号 令和5年度富良野市後期高齢者医  
療特別会計補正予算(第3号)

---

○議長(渋谷正文君) 日程第4、議案第11号、令和5  
年度富良野市後期高齢者医療特別会計補正予算を議題と  
いたします。

これより、本件の質疑を行います。  
質疑は、本件全体について行います。  
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) なければ、以上で本件の質疑を  
終わります。

討論を省略いたします。  
お諮りいたします。  
本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) 御異議なしと認めます。  
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第5

議案第12号 令和5年度富良野市水道事業会計  
補正予算(第2号)

○議長(渋谷正文君) 日程第5、議案第12号、令和5  
年度富良野市水道事業会計補正予算を議題といたします。

これより、本件の質疑を行います。  
質疑は、本件全体について行います。  
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) なければ、以上で本件の質疑を  
終わります。

討論を省略いたします。  
お諮りいたします。  
本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) 御異議なしと認めます。  
よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

日程第6

議案第13号 令和5年度富良野市下水道事業会  
計補正予算(第2号)

○議長(渋谷正文君) 日程第6、議案第13号、令和5  
年度富良野市下水道事業会計補正予算を議題といたしま  
す。

これより、本件の質疑を行います。  
質疑は、本件全体について行います。  
質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) なければ、以上で本件の質疑を終わります。

討論を省略いたします。

お諮りいたします。

本件に御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(渋谷正文君) 御異議なしと認めます。

よって、本件は、原案のとおり可決されました。

---

### 散 会 宣 告

---

○議長(渋谷正文君) 以上で、本日の日程は終了いたしました。

3月2日、3日は休日のため、4日、5日は議案調査のため、休会であります。

3月6日の議事日程は、当日御配付いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前10時48分 散会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 6 年 3 月 1 日

議 長 澁 谷 正 文

署名議員 松 下 寿美枝

署名議員 本 間 敏 行